

計画の特徴

序章 2頁

1. 長期的な展望と機動性を兼ね備えた二層構造の計画
2040年を展望した「長期構想」と、5年間で進む「実施計画」の二層構造
2. 社会の潮流(大きな変化・リスク)に真正面から向き合う計画
将来的に大きな変化やリスクを及ぼすことが予測される社会の潮流への対応に焦点
3. 未来起点で描く計画
現在の延長線上にある蓋然性の高い未来を分析・予測し、直視したうえで、めざす将来像の実現に向けた具体的なアクションを構想

長期構想

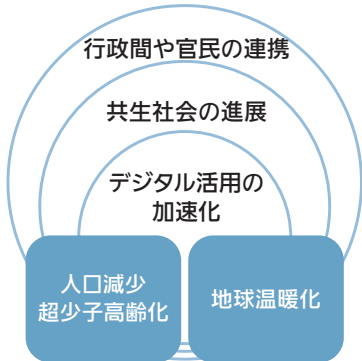
社会の潮流

第1章 8頁～

特に考慮すべき5つの潮流とその影響

豊かさを享受するために、積極的に取り入れるべき潮流

避けられない条件として、緩和と適応が求められる潮流



変化に挑み変える要素と、うまく組み合わせながら、未来の築いていく

2040年に実現した

「人口減少や気候変動に適応し
「個人が尊重され、あらゆる

将来像を実現するための



第1章 38頁～

1 海外の活力を取り込む

世界との結びつきを深め、多文化共生の社会を築きます。



第1章 40頁～

2 人への投資を強化する

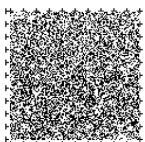
子育てを応援し、多様な学びの場をつくり、能力や意欲に応じて個人の可能性を拡げます。



第1章 42頁～

3 産業の創造力と生産性を高める

脱炭素先進県をめざし、地域の特性を活かした産業政策を進めます。



計画の全体像

動画はコチラ



計画期間

序章 3頁

長期構想
2040年を展望

実施計画
【アクションプラン】

〈5年ごとに策定〉

前期:2026～2030年度

中期:2031～2035年度

後期:2036～2040年度

実施計画

【アクションプラン】
前期

第2章 67頁～

第1章 7頁～

化に負けずに守り抜く要素を、
県民にも誇れる、新たな発展の形を
ために——。

い和歌山の将来像

第1章 36頁～

「た、持続可能で心豊かな和歌山」
「る分野で個性輝く和歌山」

和歌山の特性

第1章 30頁～



政策の6つの柱

第1章 38頁～



第1章 48頁～

4 つながりをつけて、暮らしを守る

地域の魅力に磨きをかけ、
域内外との交流と支え合
いの力で暮らしを守ります。



第1章 54頁～

5 誰にでも居場所がある社会をつくる

柔軟な働き方やスポーツ・
文化芸術活動などを通じ
て、自分らしさを発揮でき
る環境をつくります。



第1章 56頁～

6 安全な社会基盤を築き、さまざまな脅威から命を守る

資源制約を乗り越え、災害
や犯罪に対して強い地域
をつくります。

